

令和6年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【概況】



令和6年12月
北九州市教育委員会

調査の概要

- 実技に関する調査(実施期間:6月～7月 シャトルランのみ5月中旬から6月上旬に実施)
- 質問紙調査

【調査の対象とする児童生徒】

小学校第5学年 特別支援学校小学部第5学年

中学校第2学年 特別支援学校中学部第2学年

【調査種目】 小学校8種目 中学校9種目(20mシャトルランと持久走のどちらかを選択)

本年度結果(小学校)

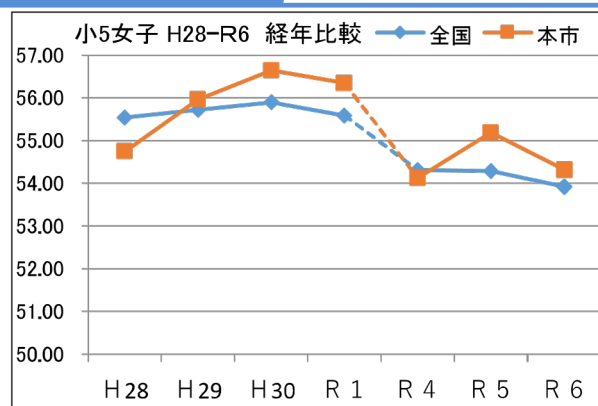
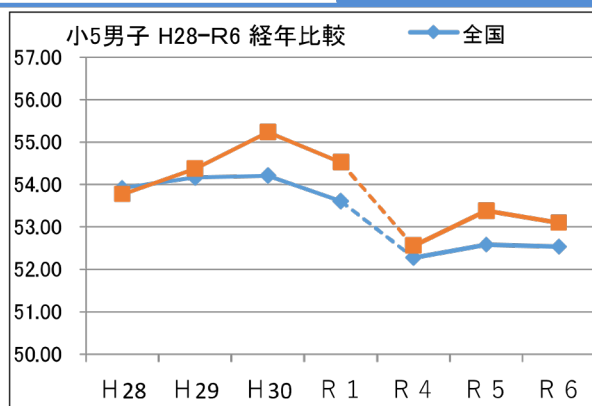
- ・ 体力合計点において、男女共に、本年度の全国平均を上回った。
- ・ 全国平均以上の種目数(8種目中) 男子:4種目 女子:5種目

※ は、全国平均値と同等以上の項目。

測定項目	小5年 男子				小5年 女子			
	R 5全国	R 5本市	R 6全国	R 6本市	R 5全国	R 5本市	R 6全国	R 6本市
① 握力 (kg)	16.13	16.30	16.01	15.98	16.01	16.35	15.77	15.88
② 上体起こし (回)	19.00	19.17	19.19	19.39	18.05	18.36	18.16	18.39
③ 長座体前屈 (cm)	33.98	34.49	33.79	34.42	38.45	38.88	38.19	38.51
④ 反復横とび (点)	40.60	40.75	40.66	40.27	38.73	38.78	38.70	38.13
⑤ 20mシャトルラン (回)	46.92	49.29	46.90	49.36	36.80	39.26	36.59	38.67
⑥ 50m走 (秒)	9.48	9.48	9.50	9.54	9.71	9.70	9.77	9.79
⑦ 立ち幅とび (cm)	151.13	152.47	150.42	150.13	144.29	145.97	143.13	142.58
⑧ ソフトボール投げ (m)	20.52	21.39	20.75	21.81	13.22	13.51	13.15	13.44
体力合計点 (点)	52.59	53.38	52.53	53.10	54.28	55.18	53.92	54.32

(※ 50m走は数字が小さいほどよい。)

体力合計点の経年比較(小学校)



(※ R2, R3年度は、コロナウイルス感染防止のため実施なし)

本年度結果(中学校)

- ・ 体力合計点において、男女共に、本年度の全国平均を上回った。
- ・ 全国平均と同等以上の種目数(9種目中) 男子:7種目 女子:7種目

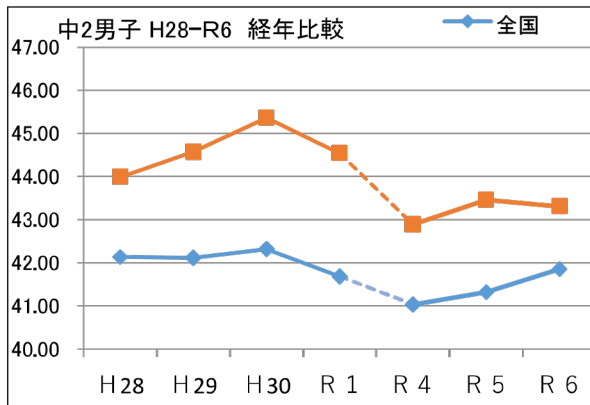
※ は、全国平均値と同等以上の項目。

測定項目	中2年 男子				中2年 女子			
	R 5全国	R 5本市	R 6全国	R 6本市	R 5全国	R 5本市	R 6全国	R 6本市
① 握力 (kg)	29.02	29.72	28.95	29.93	23.15	23.64	23.18	23.47
② 上体起こし (回)	25.82	26.24	25.94	26.34	21.62	22.08	21.56	21.97
③ 長座体前屈 (cm)	44.16	46.29	44.47	45.51	46.27	47.52	46.47	46.62
④ 反復横とび (点)	51.22	51.95	51.51	52.15	45.65	46.35	45.65	46.51
⑤ 持久走 (秒) ★	409.02	413.28	410.69	463.01	306.26	320.97	309.02	330.19
⑥ 20mシャトルラン (回) ★	78.07	80.12	78.98	81.17	50.70	51.41	50.67	52.35
⑦ 50m走 (秒)	8.01	7.86	7.99	7.88	8.95	8.86	8.96	8.85
⑧ 立ち幅とび (cm)	197.02	201.52	197.18	201.59	166.34	170.70	166.32	171.43
⑨ ハンドボール投げ (m)	20.40	20.51	20.57	20.38	12.43	12.13	12.40	11.75
体力合計点 (点)	41.32	43.46	41.86	43.31	47.22	48.65	47.37	48.44

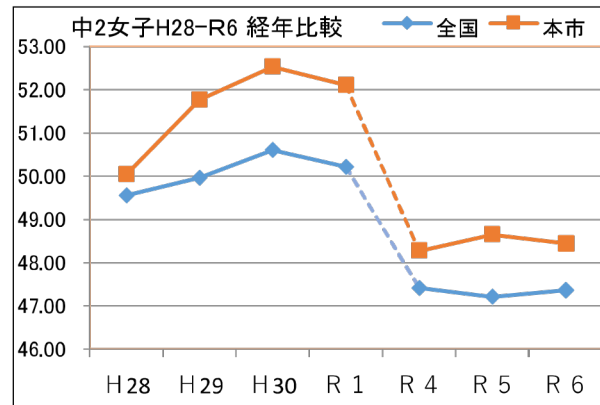
(★ 中学校は、持久走[男子1500m・女子1000m]と20mシャトルランのどちらかを選択。)

(※ 持久走と50m走は数字が小さいほどよい。)

体力合計点の経年比較(中学校)



(※ R2, R3年度は、コロナウイルス感染防止のため実施なし)



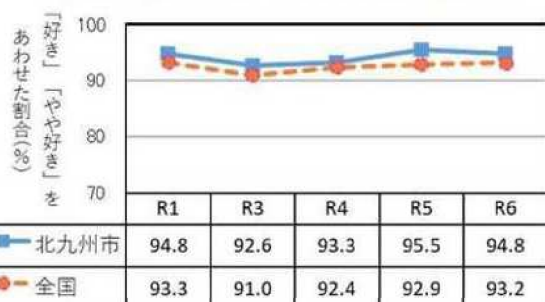
成果と課題

- 小・中学校男女共に、体力合計点で全国平均を上回った。
 - 中学校男女は、多くの種目で全国平均を上回った。
 <全国平均と比べ、特に高かった種目> 中学校男女 ⑧立ち幅とび
 - 体力合計点について、全国平均と比較すると上回っているが、コロナ禍前をピークに低い傾向が続いている。
- 【考察及び今後の方向性】
- ・ 「体育『好きっチャ』プログラム」の活用や学びチャレンジリーディング校の公開授業等により、体育の授業改善に取り組んできた成果が表れている。引き続き、「体育・保健体育が楽しい」「運動が好き」という子どもの育成を目指した授業改善に取り組み、体力の向上を図っていく。

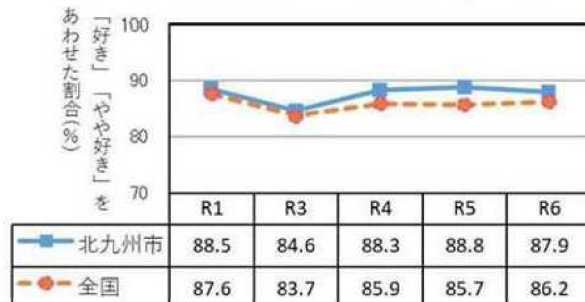
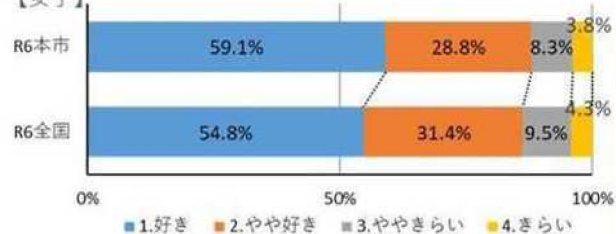
質問番号1 【運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか】

【小学校】

【男子】

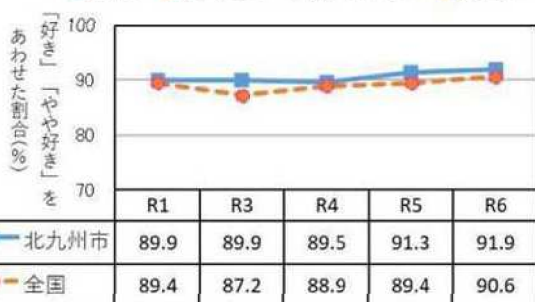


【女子】

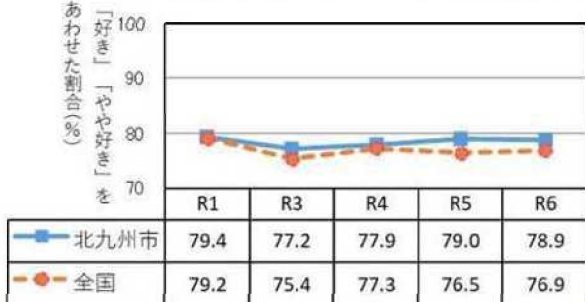
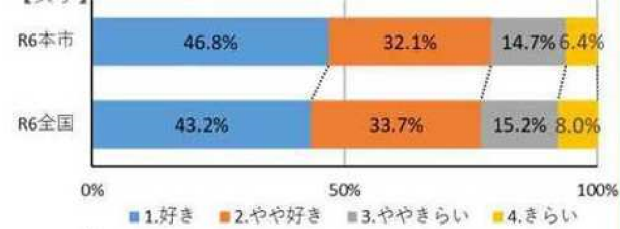


【中学校】

【男子】



【女子】

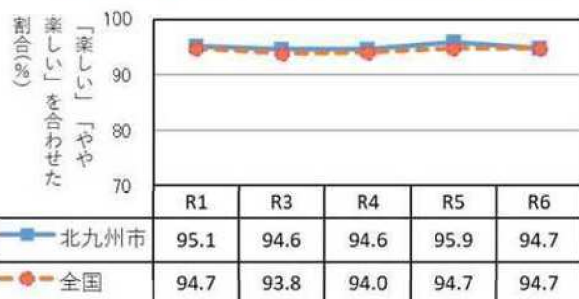
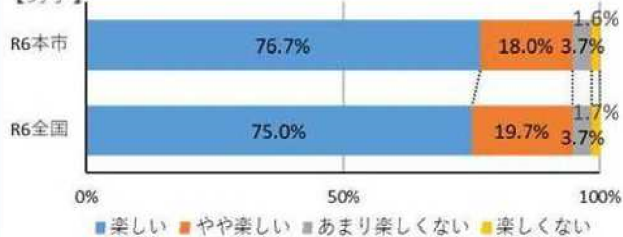


- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小・中学校男女共に全国平均を上回った。
- 全国と比べ、強い肯定である「好き」と回答した児童・生徒の割合が多い。
- 小・中学校共に、女子は男子に比べ肯定的回答が低いことが、全国的な課題となっている。

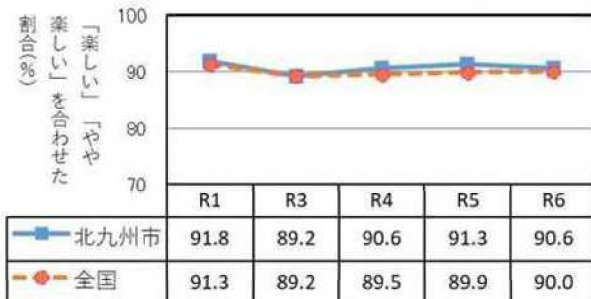
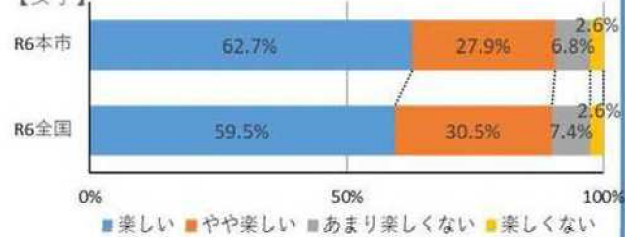
質問番号9 【体育・保健体育の授業は楽しいですか】

【小学校】

【男子】

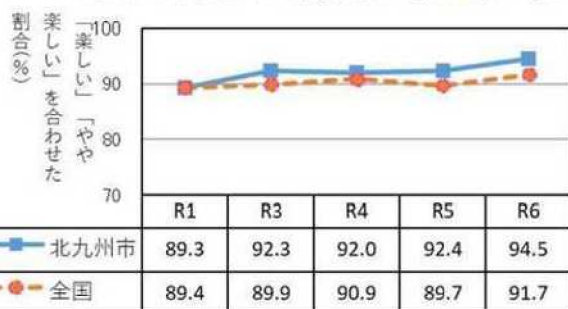
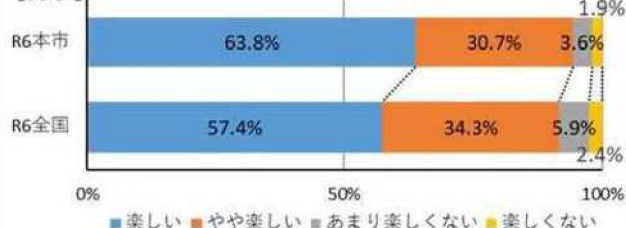


【女子】

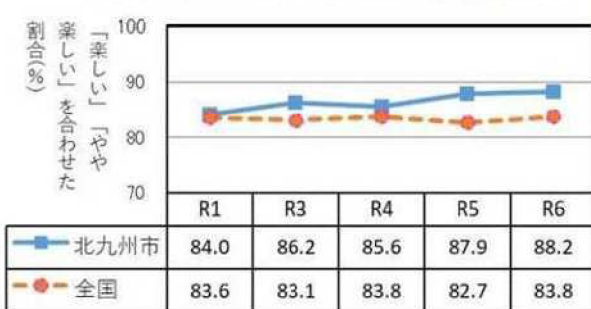
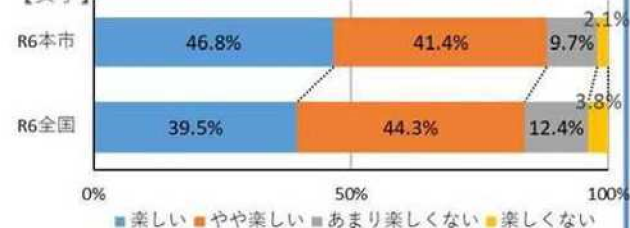


【中学校】

【男子】



【女子】



- 「体育・保健体育の授業は楽しいですか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小・中学校男女共に全国平均と同等以上であった。
- 全国と比べ、中学校男女共に強い肯定である「楽しい」と回答した生徒の割合が多く（男子：+6.4、女子：+7.3）、運動やスポーツの多様な楽しみ方や協働的な学び等、授業改善の成果が表れている。

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要

1 調査の目的

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象

- (1) 児童
小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員
- (2) 生徒
中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員
ただし、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断する。

3 調査内容

- (1) 児童生徒
 - ① 実技に関する調査
 - ア 小学校調査
〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
 - イ 中学校調査
〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※ 持久走、20mシャトルランのどちらかを選択
 - ② 質問紙調査
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査
- (2) 学校に対する質問紙調査
子供の体力の向上に係る学校の取組等に関する質問紙調査
- (3) 教育委員会に対する質問紙調査
子供の体力の向上に係る施策等に関する質問紙調査

4 本市における調査対象

- (1) 小学校及び特別支援学校小学部5年生：128校
男子 約3,700人、女子 約3,500人、計 約7,200人
- (2) 中学校及び特別支援学校中学部2年生：65校
男子 約3,300人、女子 約3,100人、計 約6,400人